

令和3年度 第1回松江市入札監視委員会

議 事 概 要

開催日及び場所	令和3年7月30日(金) 松江市役所 第2別館2階 研修室	
委 員	委員長 大屋 誠 (松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授) 委 員 藤本 晴久 (島根大学法文学部法経学科准教授) 安部 寿鶴子 (道の駅本庄企業組合専務理事) 後藤 勇 (公認会計士)	
審議対象期間	令和2年12月1日～令和3年3月31日	
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 落札率等の状況について ● 入札方式別発注工事等の状況について ● 指名停止等の運用状況について 	
審 議 事 項	抽出案件数 5件	
	(備考) 抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、案件の抽出を行った。	
	一般	松江市新庁舎建設(建築主体)工事 <ul style="list-style-type: none"> ● 入札参加業者が3者ある中で1回目は3者の入札参加であったが、2回目は1者となり落札率が最も高かった
		史跡松江城特殊地下壕空洞充填造成工事 <ul style="list-style-type: none"> ● 入札申込者が3者ある中、入札参加者は2者となり総合評価方式が適用された
指 名		出雲かんべの里工芸館整備(建築)工事 <ul style="list-style-type: none"> ● 契約金額が最も高く、また入札参加者数が3者と少なかった
		令和2年災5/100号農地(田)・103/100号施設(水路)災害復旧工事 <ul style="list-style-type: none"> ● 入札参加者3者のうち予定価格超過1者、失格/無効1者となる中、落札率が100%となった
		北工場解体工事入札参加資格確認業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ● 入札参加業者が9者でそのうち予定価格超過が8者、有効入札者が1者となった中で落札率が77.59%と低い
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見又は勧告の内容	なし	

※ 参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札
工事名	松江市新庁舎建設(建築主体)工事
工期	令和2年12月23日～令和7年10月24日
工事種別	建築一式工事
工事概要	<p>工事場所：松江市末次町</p> <p>工事概要：既存庁舎の解体、既存駐輪場の解体、新庁舎の建設、駐輪場の建設、バス停の建設、西棟の改修等工事一式</p> <p>工事内容：新庁舎の建設(鉄骨造 地下1階 地上6階建 25,798.17㎡ 1,2期工事)</p> <p>駐輪場の建設(駐輪場1 RC造 平屋 39.846㎡ 2期工事)</p> <p>(駐輪場2 鉄骨造 平屋 55.00㎡ 2期工事)</p> <p>バス停の建設(バス停上屋 鉄骨造 平屋 8.88㎡ 2期工事)</p> <p>西棟の改修(RC造 地上5階建 2,806.41㎡ 1,2期工事)</p>
入札参加資格	<p>下記第1グループ1者と第2グループ1者で構成される2者、若しくは第1グループ1者と第2グループ2者で構成される3者、若しくは第1グループ1者と第2グループ3者で構成される4者の組み合わせによる特別共同企業体であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各構成員の出資比率は、2者の場合は30%以上、3者の場合は20%以上、4者の場合は10%以上であること。 ・ 特別共同企業体の代表者は第1グループとし、施工能力及び出資比率が最大であること。 <p>○第1グループ：特別共同企業体の代表者</p> <p>①格付け又は総合点数 建築一式工事における951点以上(格付A級)の者。</p> <p>②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>③工事実績 元請又は共同企業体(経常JVを除く)の構成員(ただし出資比率20%以上)として、コリンズの竣工登録をした21億円以上の建築一式工事(改修工事及び解体工事を除く)の施工実績があること。</p> <p>④配置技術者 次の(ア)、(イ)の基準を満たす監理技術者を工事現場に専任で配置できること。</p> <p>(ア) 一級建築士、1級建築施工管理技士又は建築工事業に関し、これと同等以上の能力を有する者として国土交通大臣が認定したものであること。</p> <p>(イ) 建築工事業に係る監理技術者資格証の交付を受けており、かつ監理技術者講習を受けているものであること。</p> <p>○第2グループ：特別共同企業体の構成員</p> <p>①格付け又は総合点数</p>

	<p>建築一式工事における総合点数 951 点以上（格付 A 級）の者。</p> <p>②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。</p> <p>③工事実績 元請又は共同企業体（経常 J V を除く）の構成員（ただし出資比率 20%以上）として、コリンズの竣工登録をした 5 億円以上の建築一式工事（改修工事及び解体工事を除く）の施工実績があること。</p> <p>④配置技術者 次の基準を満たす主任技術者を工事現場に専任で配置できること。 （ア）一級建築士、1 級建築施工管理技士又は建築工事業に関し、これと同等以上の能力を有する者として国土交通大臣が認定した者であること。</p>				
入札参加資格確認 申請業者数	3 者	入札参加業者数	1 回目入札：3 者 2 回目入札：1 者	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	9,230,153,900 円				
調査基準価格（税込）	8,729,700,100 円				
契約金額（税込）	9,207,000,000 円（落札率：99.75%）				
入札の経緯 及び結果	<p>令和 2 年 12 月 10 日 開札（同日落札決定）</p> <p>第 1 回目入札で 3 者の応札があったが、すべて予定価格超過となったため、第 2 回目の入札を行った。第 2 回目では 2 者が辞退し残る 1 者は予定価格以下及び調査基準価格以上での応札であったため、競争入札参加資格の事後審査を行った結果、参加資格を満たすことが確認できたため、松江土建・カナツ技建工業・一畑工業特別共同企業体に落札決定。</p>				

抽出事案説明書

入札方式	一般競争入札（総合評価方式）				
工事名	史跡松江城特殊地下壕空洞充填造成工事				
工期	令和3年3月23日～令和3年10月10日				
工事種別	土木一式工事				
工事概要	工事場所：松江市殿町 工事概要：空洞充填工（水中不分離性エアモルタル） N=1 式 改良土埋戻工（石灰改良） V=130 m ³ 植生基材吹付工 A=85 m ² 植生シート工 A=30 m ²				
入札参加資格	①格付け又は総合点数 A 等級の者。B 等級の者のうち、松江市発注（公社、企業局は除く。ただし、松江市上下水道局名で発注した雨水事業による工事（松江市において検査を行った工事）は含む。）の令和元年度に完成した土木工事が複数あり、その全工事成績の平均点が 76 点以上の者。なお、令和元年度に完成した工事が 1 件又は全くない場合は、平成 30 年度も対象として適用する。 ②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 ③工事実績 国（公団、公社を含む。以下同じ。）、都道府県（公社を含む。以下同じ。）又は松江市（合併前の旧市町村を含む。松江市にあつては公社等を含む。）発注の工事において、1 契約で 2500 万円以上の土木一式工事 ④配置技術者 建設業法に基づく、主任技術者又は監理技術者を配置すること。監理技術者にあつては、土木工事業に係る監理技術者資格者証の交付を受けており、かつ監理技術者講習を受けている者であること。				
入札参加資格設定の理由及び経緯	設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：令和2年11月16日、島根県総合評価委員会において審議の結果決定した。				
入札参加資格確認申請業者数	3 者	入札参加業者数	2 者（1 者辞退）	無資格業者数	なし
予定価格（税込）	40,309,500 円				
調査基準価格（税込）	36,265,900 円				
契約金額（税込）	36,465,000 円（落札率：90.46%）				

入札の経緯 及び結果	<p>令和3年3月15日 開札（3月16日落札決定）</p> <p>第1回目入札で2者の応札があり、総合評価を実施し、技術点数と入札価格を用いて算出した評価値により順位を確定した結果、予定価格以下及び調査基準価格以上での応札であった業者について競争入札参加資格の事後審査を行い、審査の結果参加資格を満たすことが確認できたため、(株)庭の川島に落札決定。</p>
---------------	--

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	出雲かんべの里工芸館整備（建築）工事
工期	令和2年12月24日～令和3年3月26日
工事種別	建築一式工事
工事概要	<p>工事場所：松江市大庭町</p> <p>工事内容：管理・工芸棟（RC造及び木造2階建）の内部改修を行うもの。</p> <p>【1階】受付・授乳室の整備</p> <p>【2階】①展示室・倉庫…壁撤去→ギャラリー ②工房・研修室…壁と扉撤去→多目的研修室、インキュベーション工房×2</p> <p>【全体】トイレ（男女）の洋式化（階段棟トイレ含む）×8穴</p>
工事のランク	A又はB又はC
指名業者数	15者
指名業者を選定した考え方	<p>市登録業者で、下記の条件を満たす4者全者を指名。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「建築一式工事業」の建設業許可を受けている事業者であること。 ● 建設業法に規定する主たる営業所を市内に有すること。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	3者
予定価格（税込）	18,280,900円
最低制限価格（税込）	16,827,800円
契約金額（税込）	16,940,000円（落札率：92.67%）
入札の経緯及び結果	<p>令和2年12月18日 開札</p> <p>第1回目の入札で3者が応札し、1者が予定価格超過、2者が予定価格以下の応札であり、その中で最も入札価格の低い(有)三島工業所に落札決定。</p>

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
工事名	令和2年災5/100号農地(田)・103/100号施設(水路)災害復旧工事
工期	令和3年4月1日～令和3年6月28日
工事種別	土木一式工事
工事概要	工事場所：松江市内一円 工事内容：施工延長 L=8m 土工一式 コンクリートブロック積 A=21m ²
工事のランク	A又はB又はC
指名業者数	10者
指名業者を選定した考え方	市登録業者で、下記の条件を満たす38者のうち10者をローテーションで指名。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「土木一式工事業」の建設業許可を受けている事業者であること。 ● 建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋南地区にあること。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	3者
予定価格(税込)	2,768,700円
調査基準価格(税込)	2,466,970円
契約金額(税込)	2,768,700円(落札率：100.00%)
入札の経緯及び結果	令和3年3月30日 開札 第1回目の入札で3者の応札があり、最も入札価格の低かった1者は内訳書の不備で失格となり、残り2者中1者は予定価格超過、残りの1者は予定価格以内、最低制限価格以上であったため、(有)三島工業所に落札決定。

抽出事案説明書

入札方式	指名競争入札
業務名	北工場解体工事入札参加資格確認業務委託
履行期間	令和3年4月1日～令和3年6月28日
業務種別	建築関係建設コンサルタント又は土木関係建設コンサルタント
業務概要	業務場所：松江市鹿島町 業務内容：北工場解体工事の契約に向け、入札参加資格確認を行うもの。
業務のランク	なし
指名業者数	15者
指名業者を選定した考え方	市登録業者で、下記の条件を満たす19者のうち15者を指名。 ● 技術士（衛生工学部門）又はRCCM（廃棄物部門）が在籍すること。 ● 電子入札登録者であること。
入札参加業者数	9者
予定価格（税込）	非公開
調査基準価格（税込）	非公開
契約金額（税込）	2,768,700円（落札率：非公開）
入札の経緯及び結果	令和3年3月26日 開札 第1回目の入札で9者の応札があり、内8者は予定価格超過、残りの1者が予定価格以内、最低制限価格以上であったため、（株）東和テクノロジー 山陰営業所に落札決定。

1. 落札率等の状況について

(説明要旨)

【建設工事】

○落札率の推移

令和2年度の平均落札率は98.03%で、令和元年度と比較して1.91ポイント上昇している。ここ十数年で最も高い落札率となっているが、これは新庁舎関係の3つの案件の落札率が平均99.42%と高く、また、その3件だけで予定価格ベースで全体に占める70%以上となっており、全体の落札率を引き上げている。

なお、新庁舎関係の案件を除いたものでの落札率は94.18%と例年どおりの数値となっている。

○月別入札件数と落札率の推移

12月の落札率が99.34%と高くなっているが、これも新庁舎の高い落札率によるもの。

また、入札件数においては、年度末の3月において44件と1年で一番多くの入札が行われているが、これは、まず令和2年度に発生した災害関連の工事が21件となり、そのほかに、建設業者の経営安定化対策として、通常工事が無い4月に工事が施工できるよう、あえて年度末に発注する工事が19件となる。

なお、2月・3月の入札実施16件のうち、15件が年度を繰越す工事となっており、これは工事の平準化を図るため、つまり工事施工の空白期間を無くすため、通常工事が無い年度当初にも着手・施工できるよう、あえて前年度末に入札するもの。

○工種別落札率の推移

令和2年度においては、落札率が90%を下回るような落札率の低い工種はなかったが、例年落札率の高い「建築」、「電気」、「管」は新庁舎関連の影響でさらに高くなっている。

○価格帯別落札率推移

7,000万～8,000万の価格帯において落札率が高く、9,000万～1億において落札率が低くなっているが、これはどちらも案件が1件しかなく、この1件の結果に左右されているものであり、全体的に価格帯による特徴はない。

○入札執行状況

令和2年度の不調・不落の件数は52件。その52件の不調・不落後の対応は、指名入替や設計変更による再入札を28件(指名入替20件、設計変更6件、指名入替+設計変更2件)、不落随契15件、取止め9件。

令和2年度は特に不落不調が多くなっている。市としては、工期が集中すると保有技術者の関係で入札に参加しにくくなるので、工期が集中しないようできるだけ、発注の平準化に努めているが、令和2年度のように、災害など予定外の工事などが集中したりすると、どうしても入札に参加されなかったり、落札があっても参加者が少なかったりとなっている。

【業務委託】

○落札率の推移

令和2年度の平均落札率は93.29%で、前年度と比べてほぼ横ばいとなっている。

○月別入札件数と落札率の推移

工事とは異なり、発注の平準化は行っておらず、令和2年度のように事業が稼働し始める6～7月が多く、年度末になるにつれ少なくなる。

落札率については3月が低くなっており、これは「北工場解体工事入札参加資格確認業務委託」の1件で落札率が低かったため。また、2月が85.06%と低くなっているが、これは他の月にも低い落札率の案件はあるが、2月においては低い案件1件のみのため特に低くなっている。

○業種別落札率の推移

特に「その他」が高くなっている。これは井戸の試掘調査業務で落札率が高かったため。

○価格帯別落札率推移

この価格帯によります特別な特徴はないが、令和2年度については、全体的に見て落札率ほどの価格帯においても90～95%の間での落札となっている。

○入札執行状況

令和2年度については不落・不調となった案件なし。

2. 入札方式別発注工事等の状況について

添付の資料を参照いただきたい。(詳細説明は省略)

質問及び意見	回答
落札率の推移について説明があったが、加重平均で落札率を出すと特定の案件により数字が高くなることによってすべての工事の落札率が上がっているかのように見えてしまう。別途単純平均による数字も捉えておいた方が推移を見るのにはよいのではないか。今後加重平均、単純平均両方の数字が記載されることを提案する。	対応する。
3月のところで随分不調・不落が多かったということだが、その結果を踏まえて今年度何か対策を考えていれば教えてほしい。	昨年度不調・不落が多かったということで精査した結果、災害関係がメインとなっていた。 そこで、災害工事の受注を今年度より総合評価の加点項目とする制度改正により、災害関係工事の不調・不落の減少対策に努めているところ。
一つ一つの金額が少ないものがたくさんあるため、多少距離が離れていても一緒にして金額を上げるなど、ある程度のボリュームにしておくことも必要ではないか。その他何か対策あるか。	できるだけ近傍をまとめて出し、業者の負担が少ないようにしたいと考えている。
コロナが流行っている中、人を集めることが難しくなっているといった影響はあるか。	今現在コロナが原因で工事が滞ったという話は聞いていない。

<p>1 者入札が非常に多いが、参加者が 1 者の場合は取り止めている自治体もある。松江市は 1 者の場合でも入札を行っているわけだが、さすがに件数が多いので、何らかの対策が必要ではないか。</p>	<p>以前に中核市に対して 1 者入札の取り扱いの調査を行った。結果は取り止める自治体が 6 割、入札を行う自治体が 4 割という結果だった。松江市の考え方としては、中止して再度入札しても同じ結果になることが想定されること、中止することで事業が滞ることが懸念されることから 1 者入札でも行うことを選択している。</p> <p>令和 2 年度の実績を見ると、やはり災害復旧工事で 1 者入札が非常に多いため、先ほども申し上げた通り今年度より総合評価方式の加点項目に災害工事を加えると言った対策を講じたので、今年度結果を検証したい。</p>
---	---

審議結果：全委員了承

【審議事項について】

1. 一般競争入札【松江市新庁舎建設(建築主体)工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書 **資料 3-1** のとおり。

○JV に発注する物件は金額が高く難易度が高いものになる。一般的に通常より工事内容的に経費が厳しくなると推察される。

また、発注者側の経費計算では 1 者での経費を想定しており、JV での経費としては計上されず通常より実際経費が厳しくなると推察される。JV で経費削減を考える場合、1 者で考えるより難しくなると推察される。

質 問 及 び 意 見	回 答
<p>工事期間が 5 年と長く、継続費でやるため 5 年以内で設定したと思うが、工事期間が延びたときはどうするか。また、各年度の配分は均等なのか実績に応じてなのかを教えてほしい。</p>	<p>工期の延長が無いように努めていくのが大前提だが、万が一工期延長せざるを得なくなった場合は、継続費の組み方をやり直して議会の議決を得た後に変更契約を行うという方法を考えている。また、各年度の配分は均等ではなく、各年度の出来高をもって配分する。</p>
<p>受注後の資材の高騰があった場合はどうなるか。</p>	<p>契約約款により双方協議の上決定することとなり、必要に応じて増額変更することとなる。</p>
<p>2 回目を辞退した 2 者について、落札業者と金額に差があるが、資料等は適切に提供されていたか。</p>	<p>入札に必要な資料はすべて同じものを提供している。金額差については、各企業体によって下請業者や資材の調達能力などが違うことが原因ではないか。また、長期間にわたるため、業者によって仮設や経費等の考え方の違いの積み重ねが数字として表れたと考えられる。</p>

審議結果：全委員了承

2. 一般競争入札（総合評価方式）【史跡松江城特殊地下壕空洞充填造成工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書資料3-2のとおり。

○総合評価1位の(株)庭の川島と2位の(有)協和工業に技術評価点において差がでていたのは、(株)庭の川島が若手中堅技術者育成のために、満40歳未満の技術者を主任技術者として当該工事に配置すること、及び当該年度を含めた過去10年度間に優良工事表彰を受けていることによる加点により差が出ている。

質問及び意見	回答
タイトルに特殊とあるが、何が特殊なのか。	国土交通省が所管している「特殊地下壕対策事業」という補助事業を利用しており、その要綱上に「特殊地下壕とは戦時中に旧軍、地方公共団体等が築造した防空壕を言う。」と定義しており、それに従ってこういうタイトルとしている。
文化財の調査は終了しているか。もう埋めてもいいという決定がされたのか。	内部の3次元レーザー測量を行い、松江城整備検討委員会での承認をいただいた後、文化庁に現状変更の申請を行った結果、許可が下りた。

審議結果：全委員了承

3. 指名競争入札【出雲かんべの里工芸館整備（建築）工事】

※工事概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書資料3-3のとおり。

○令和2年10月28日15者を指名し、1度目の入札を実施し、1回目は1者が応札したものの予定価格を上回り、2回目には応札者がなく不調となった。

令和2年11月25日違う15者を指名し2度目の入札を実施し、1回目は2者が応札をしたが予定価格を上回り、2回目には1者が応札したものの予定価格を上回り、不落となった。

今回の案件は3度目の入札。なお入札参加者数が少なかったのは、手持ち工事が多かったためと推察する。

質問及び意見	回答
入札書不着の失格業者が2者いるが、1回目、2回目にも同様の失格がいたか。失格になった業者はこれまでも何回も失格となっているか。その場合、次の指名では問題なくローテーションで指名されるか。	1回目に1者、2回目に3者いる。次の案件では指名される。
15者指名しても3、4者しか応札しない原因は何と考えるか。	発注時期が年末ということと、工期末が年度内ということ、手持ち工事があったことなどが推察される。通常の手順だと、前年度に設計をして翌年度工事の発注となるが、補助金の関係ですべて同一年度に執行しなければならず、この時期の発注にならざるを得なかった。また改修工事ということで、内容が複雑であることも影響しているのかもしれない。

設計変更したということだが、どう変わったのか。	通常は県の単価を採用するが、県の単価が新築工事を想定したものであることから、今回の小規模な改修工事には適さないと考え、今回の工事は塗装・内装や撤去・運搬がメインとなるため、見積を徴取し積算を行った。
-------------------------	---

審議結果：全委員了承

4. 指名競争入札【令和2年災5/100号農地(田)・103/100号施設(水路)災害復旧工事】

※業務概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書資料3-4のとおり。

○令和3年3月2日に10者の指名により入札を実施しましたが、応札がなく不調となった。全者とも手持ち工事が多く、応札に至らなかったと推察される。

2回目の入札においても、同様の理由から7者は応札がなかったが、応札のあった3者については高い積算能力により全てが予定価格に近い額であり、最も低価格であった1者は書類に不備があったので、2番目の価格が落札となったが、予定価格と同額になったのは偶然だと推察される。

質問及び意見	回答
2回目ということだが、業者を入れ替えて入札したか。	本案件の金額では通常B+Cだが、制度改正によりAも入れるようにした。
2回目は最初に指名した10者を除いて指名したか。	入れ替えた業者と再度指名した業者が混在している。10者中7者が再度指名。
前回辞退した業者を再度指名した結果は？	<p>本来であれば全者入替となるところだが、あまり距離の離れた業者に入れ替えるというわけにもいかず、ある程度エリアを設定すると入れ替える業者も限られてしまうため、再度指名した業者が混在することとなった。</p> <p>1回目のときは、工事現場が田んぼでそこが直るかどうかでその年の耕作の可否が決まるということもあり、必ず工期内に終わらせないといけないという制約の多い工事だったため、辞退と失格のみだったが、2回目は工期が伸びるなど制約が少なくなったことで前回辞退した業者の受注意欲が上向いたものと思われ、3者参加があった。</p>
内訳書の不備とは具体的には何か。	内訳書ではないものが内訳書として添付されていた。

審議結果：全委員了承

5. 指名競争入札【北工場解体工事入札参加資格確認業務委託】

※業務概要・入札経過及び結果等は抽出事案説明書資料3-5のとおり。

○この業務においては、標準積算歩掛がないため、事前に9者から歩掛見積を徴取し(1者辞退)、「業務委託における見積による歩掛の決定方法」に基づき、その見積の平均直下の歩掛りを採用し、業務設計書を作成している。

入札に当たっては、この歩掛見積を徴収した8者を含めた業者選定を行っている。落札業者は、令和2年度に北工場解体工事発注支援業務を受注した業者であり、落札率が低くなったものと推察される。

質問及び意見	回答
<p>ダイオキシン関係の特殊工事のため、標準となるものがないから見積を取って、平均値を設計金額としたという中で、落札業者は見積時よりも低い応札だったのは企業努力と言われればそうだと思うが、他と相当開きがあるが随意契約は視野に入らなかったか。</p>	<p>この業務をできる業者が1者しかなければ随意契約となるが、他にもできる業者が複数いる以上、競争入札となる。</p>
<p>落札した業者以外すべて予定価格を超えているが、この中には見積を提出した業者もあると思うが、見積の平均を使うのであれば、普通であれば少なくとも何者かは予定価格を下回るはずだが、この結果はどうとらえればいいか。</p>	<p>今回徴収した見積は、本業務だけのものではなく、他の業務も含めた包括的なもので聴取しており、その中から当該業務に該当する部分を抜き出したものを使用したために、こういう結果になったかもしれない。</p>
<p>審議結果：全委員了承</p>	

【報告事項】

①指名停止等の運用状況について

令和2年12月1日～令和3年3月31日の期間で指名停止は3件3社あり。

②工事入札制度の変更と落札率の推移について

令和2年度は制度の変更はなく、過去の改正の結果を検証していく段階と考えている。

質問及び意見は特に無し。

【その他】

〔次回開催予定について〕

令和3年度第2回委員会は11月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。

以上